

シンポジウム

「セザンヌーパリとプロヴァンス」展から見る今日のセザンヌ

現在、国立新美術館（東京・六本木）で開催中の「セザンヌーパリとプロヴァンス」展は、パリとプロヴァンスという2つの場所に注目して、セザンヌの画業を振り返る大規模な回顧展です。セザンヌは、故郷であるエクス＝アン＝プロヴァンスと、パリを中心としたイル＝ド＝フランスの間を、生涯を通じて頻繁に行き来しました。気候や地理だけでなく、文化や精神的風土という点でも対照的な2つの地域での制作は、セザンヌの創作活動に決定的な意義を果たしたと考えられます。

本シンポジウムでは、セザンヌ及び、近代フランス絵画の専門家の皆様をお招きし、場所という新たな視点から、今日に相応しいセザンヌ像を再構築することを目的とします。まずは、セザンヌ研究の流れを踏まえて、今日セザンヌを取り上げることの意義を検証することから始めます。続いて、展覧会の内容に即してセザンヌの場所の移動と創作の関係を確認した後、パリとプロヴァンス、それぞれにおけるセザンヌの芸術的探求を扱う各論が続きます。この一連の発表と全体討議を通じて、「近代絵画の父」と呼ばれたセザンヌを新たな視座から捉えなおします。

日時：2012年5月26日（土）13:00-17:00（12:30開場）

会場：国立新美術館 3階講堂

主催：国立新美術館、日本経済新聞社

後援：日仏美術学会、美学会、美術史学会

定員：260名（聴講無料・事前申込制）

プログラム

12:30 開場

13:00-13:45 基調講演

永井隆則（京都工芸繊維大学准教授）

「セザンヌ研究の現在

ー研究史から見る今日のセザンヌ像」

13:45-15:30

パネリスト発表

工藤弘二（国立新美術館研究員）

「南北の対比からみるセザンヌ

ー展覧会史での本展の位置づけとその重要性について」

三浦篤（東京大学教授）

「セザンヌのパリー＝マネとの関係を中心に」

新畑泰秀（ブリヂストン美術館学芸課長）

「セザンヌのプロヴァンスーセザンヌと古典主義」

15:50-16:50 全体討議

※各演題には、若干の変更が生じる場合があります。

申込方法

展覧会ホームページ（<http://cezanne.exhn.jp/>）

で、4月25日（水）（予定）より申込受付を開始します。

但し、シンポジウム当日に空席がある場合に限り、申込なしでも入場いただけます。

お問い合わせ

電話 03-5777-8600（ハローダイヤル）

登壇者プロフィール

永井隆則

ポール・セザンヌ協会会員。京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科准教授。文学博士（京都大学）、Diplôme d'études approfondies（プロヴァンス大学博士課程博士論文提出資格課程修了〔歴史と文明；美術史、エクス＝アン＝プロヴァンス、フランス共和国〕）。京都国立近代美術館主任研究官を経て、現職。主著に『フランス近代美術史の現在 ニュー・アート・ヒストリー以後の視座から』（編著）、『モダン・アート論再考——制作の論理から』、『セザンヌ受容の研究』など。

三浦篤

東京大学総合文化研究科教授。東京大学大学院人文科学研究科美術史学博士課程、単位取得満期退学。パリ第4大学博士号取得。専門はフランス近代絵画史、日仏美術交流史。主著に『近代芸術家の表象—マネ、ファンタン＝ラトゥールと1860年代のフランス絵画』、『西洋美術史ハンドブック』（共編著）、『まなごしのレッスン I 西洋伝統絵画』、『自画像の美術史』（編著）、これまでに監修した主な展覧会として、2011年「光を描く 印象派展 —美術館が解いた謎—」（青森県立美術館）など。

新畑泰秀

ブリヂストン美術館学芸課長。成城大学文学研究科博士後期課程中途退学。専門はフランス近代絵画史。横浜美術館学芸員を経て、現職。これまでに担当した主な展覧会として、1999年「セザンヌ展」、2005年「ルーヴル美術館展 19世紀フランス絵画：新古典主義からロマン主義へ」、2008-09年「セザンヌ主義：父と呼ばれる画家への礼讃展」（以上、横浜美術館）、2011年「アンフォルメルとは何か？—20世紀フランス絵画の挑戦」（ブリヂストン美術館）など。

工藤弘二

国立新美術館研究員。東北大学文学研究科博士課程、単位取得退学。専門はセザンヌの研究を軸としたフランス近代美術史。「セザンヌーパリとプロヴァンス」展担当者。

〒106-8558

東京都港区六本木 7-22-2

<http://www.nact.jp/>

アクセス

東京メトロ千代田線乃木坂駅

青山霊園方面改札6出口

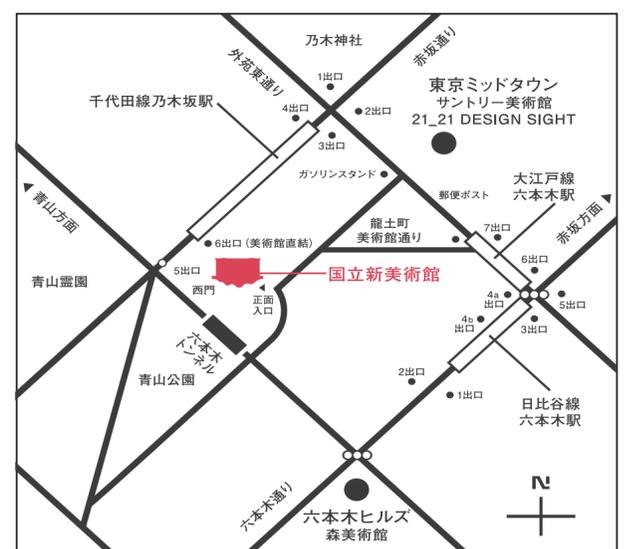
（美術館直通）

東京メトロ日比谷線六本木駅

4a出口から徒歩5分

都営地下鉄大江戸線六本木駅

7出口から徒歩4分



国立新美術館 開館5周年

“Cézanne. Paris-Provence”



国立新美術館